

IT戦略

基本的な考え方

成熟期を迎えた国内と、今なお成長を続ける海外。デジタル技術活用機会の拡大と、セキュリティ対応の強化。DI／DX推進の必要性と、なお過半を占める既存IT領域の重要性。システムの所有と利用。ハイブリッド化が進むITを巡る環境変化の中には、ガバナンスを発揮し経営・業務を支える“両利き”でのIT戦略を推進します。



IT投資戦略

SMBCグループの将来の成長に向け、中期経営計画のIT投資は前中計の4,400億円から5,000億円に増額しました。効率的な運営により、これまでの既存IT領域への投資を適切にコントロールし、戦略的な投資を大きく増やしていきます。具体的には、グループCEOが「将来の成長が期待できる分野」と判断したものの機動的に投入できるCEO予算を1,000億円確保し、デジタル化推進・経営基盤強化・事業戦略の実現を牽引していきます。

成長に向けIT投資を増額

(億円)



デジタル推進

デジタル変革に対応すべく設置したデジタルソリューション本部や同部門内のデジタル戦略部、法人デジタルソリューション部にて、ビジネスモデル変革および新たな

社外からの評価

主催団体	認定・表彰	内容
経済産業省	DX認定	デジタルガバナンス・コード*への対応
経済産業省・東京証券取引所	DX注目企業2020 DX注目企業2021	DXへの取組実績
企業情報化協会	IT賞	量子コンピュータ技術のコールセンターの要員シフト最適化問題への適用
	IT奨励賞	Webからのお手続で支えよう SMBC at HOMEプロジェクト
	IT奨励賞	三井住友ファイナンス＆リースによる SMFLキャピタル（旧GEキャピタル）の システム統合とデジタル化への取組

* DXを背景として、経営者に求められる企業価値向上に向け、実践すべき事柄

価値提供を加速させています。なお、非金融分野を含めたサービス創出への取組については外部からも高く評価されており、複数の表彰を受賞しています。

将来のビジネスを支える 基幹系インフラの更改・再構築

中長期のビジネス環境・お客さまニーズの変化等に対応すべく、柔軟性(Flexibility)、持続性(Sustainability)、効率性(Efficiency)の3点を軸とし、10年後を展望した基幹系インフラの構築を目指します。この考え方に基づき、屋台骨となる勘定系システムの更改に着手しています。



次世代勘定系システムの詳細については
P057をご参照ください

デジタル社会の持続的成長を支える人材育成

SMBCグループのデジタル化を加速し、お客さまや社会へ貢献していくには、IT専門部署だけでなく全従業員がデジタルマインドやIT基礎知識を身に付ける必要があります。SMBCグループでは、グループの中核IT会社である日本総合研究所にITやデジタル化推進に関する研修組織「デジタルユニバーシティ」を設置し、全従業員を対象としたデジタルITリテラシー研修や、実務に活かせるIT利活用研修を提供しています。

また、専門性を持つ人材の育成にも取り組んでおり、グループ各社の業務をベースとした研修や、プロジェクトの実例から得られるノウハウを活用したカリキュラム、最新技術に関するワークショップ等、独自の研修を行っています。

サイバーセキュリティ

近年より一層深刻化し、急速に巧妙化が進むサイバー攻撃のリスクに対応するため、SMBCグループでは、トップリスクのひとつにサイバーリスクを掲げ、「サイバーセキュリティ経営宣言」を策定し、セキュリティ対策を強化しています。

経営主導の態勢強化のため、グループCIO・CROの下に、システムセキュリティ統括部長を「CISO」という専門的な責任者として配置する体制とし、CISOの役割・責任を明確化するとともに、「CSIRT」「SOC」を設置しています。グループ内外から集まる脅威情報や観測事象を分析し、推進中のセキュリティ対策の状況と合わせて、定期的に取締役会および経営会議の場で議論することで、継続的なレベルアップに努めています。

CSIRTは、サイバーセキュリティ専担組織を有するシステムセキュリティ統括部が中心となって構成する組織で、サイバーインシデントの発生に備え、国や外部機関とも連携し、攻撃者の手口や脆弱性情報等を共有しています。

SOCは、日本総合研究所を中心に組織しており、グループ各社監視体制の一元化推進、グローバルベースでの24時間365日監視体制構築等、高まるサイバー攻撃へのリスクに備えるべく、引き続きセキュリティ監視の強化に努めています。

SMBCグループの サイバーセキュリティ経営体制

